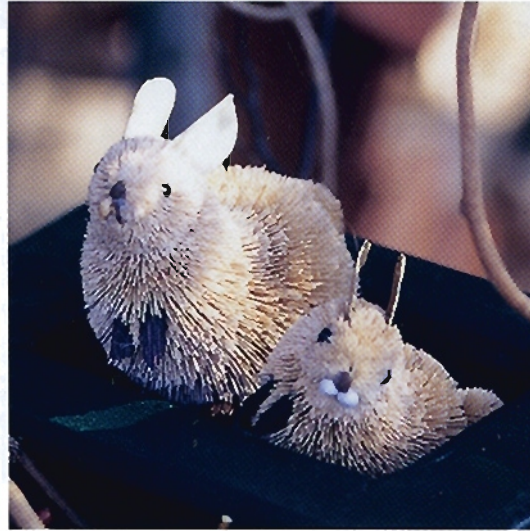


GREEN Sketch

SPRING 1999

No.5



(写真提供：新潟県立植物園)

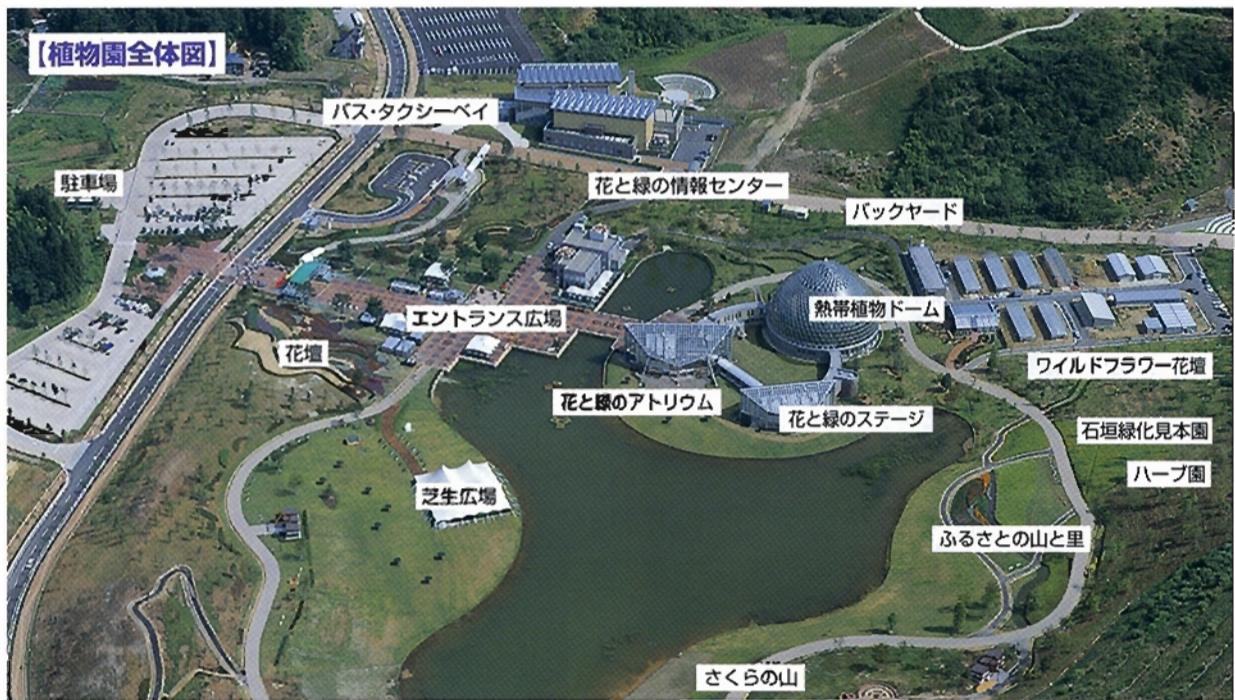
C O N T E N T S

特集

緑の夢王国 新潟県立植物園

- 植物に親しむ
- 公園紹介～県立鳥屋野潟公園（スポーツ公園）
- 助成制度事例紹介 —にいがた花絵プロジェクト—（緑花催事助成金交付制度）
- 緑花イベント情報
- 緑の愛護団体紹介

(財)新潟県都市緑花センター



第3温室

花と緑のアトリウム

温室内でつくられた住宅の一部に、生活の中での花や緑の様々な取り入れ方を提案しています。かわいい花や緑の飾り方をあなたの家にも取り入れてみませんか？



花と緑の情報センター

● 花と緑の相談コーナー

花や緑に関する様々な相談に応じています。
(詳細は次のページへ)

● 緑の図書コーナー

植物一般、園芸、造園、植物病虫害などの資料、図書を中心に閲覧できます。閲覧は無料ですので気軽にお立ち寄り下さい。

● 研修室

一般、団体の方々に研修室の貸出を行っています。イベントや教室などを開きたい方は是非ご利用ください。

研修室使用料 (1室・60席 全2室)

| | | | |
|----|--------|--------|--------|
| 1室 | 午前のみ | 午後のみ | 1日 |
| 料金 | 2,000円 | 3,000円 | 5,000円 |

※2室使用の場合は各倍額となります。
※音響・映写機等の貸出も行っています。
※夏・冬は冷暖房費を若干負担していただきます。

園地



温室の外に一步踏み出すと園内には大規模な花壇や、ハーブ園、各市町村の「まちの木」を植栽した市町村園、池の水際に続く芝生広場やさくらの山があり、新津丘陵の豊かな自然と花や緑に囲まれて、ゆっくりくつろげる空間になっています。

特集

緑の夢王国

新潟県立植物園

園長紹介



新潟県立植物園園長
石月 誠二

昨年12月にうぶごえを上げました「新潟県立植物園」(緑の夢王国)からご挨拶させていただきます。

当園は、多くの皆様のおかげ添えのもと、平成4年から7年間の月日をかけて完成したものです。当園は、本県の緑化に関する情報発信基地とともに県民の憩いの場の提供など「花と緑の劇場」を目指します。

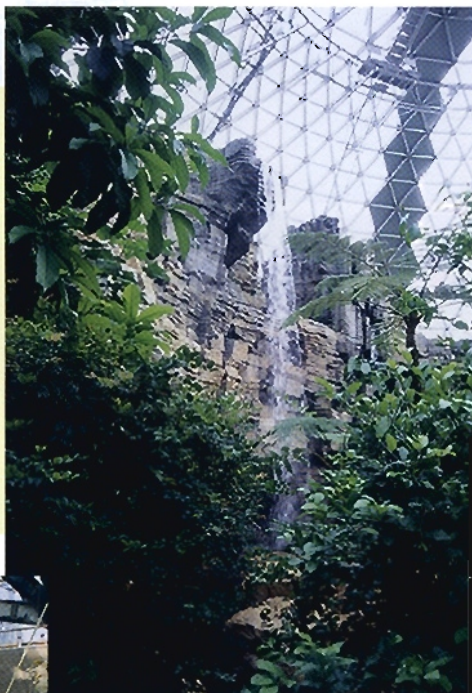
施設の目玉は何といっても「全国最大級の熱帯植物ドーム」と、折々の花々でディスプレイする「花と緑のステージ」、温室内の住宅部分で季節

の花や緑、その造形品等の展示手法を提案したり、池の水面を身近にした屋外テラスの景観が楽しめる「花と緑のアトリウム」の3つの温室です。また、外は里山の自然を豊かに残す新津丘陵を背景として「さくらの山、ハーブ園、本県市町村の木を集めた市町村園やいろいろの花壇などが展開しています。まだまだ基礎づくりの段階ですが、職員一同緑に覆われた素晴らしい当園の明日の姿を見つめながら頑張っていますので今後のご指導をよろしく願います。

第1温室

熱帯植物ドーム

高さ30m、直径42mの国内最大級の熱帯植物ドーム。南米のギアナ高地をイメージしており、落差15mの滝と約420種、4400株の熱帯植物を鑑賞することができ、1年を通して、植物の魅力、花の美しさを満喫することができます。



第2温室

花と緑のステージ(1F)

春・夏・秋・冬と1年を4つのテーマにわけ、展示を行っています。花や緑を用いた装飾展示でくつろぎの空間を演出します。

水中庭園(1F)

6つの水槽には熱帯の様々な水草がレイアウトされています。光と水と植物がおりなす美しさをご覧ください。

香りの庭(2F)

香りをテーマにフレッシュハーブやポプリを展示し、直接さわって楽しめるコーナーとなっています。



第15回全国都市緑化にいがたフェアの新津会場をリニューアルし、平成10年12月1日から正式に開園した「緑の夢王国」新潟県立植物園を特集します。

植物に親しむ

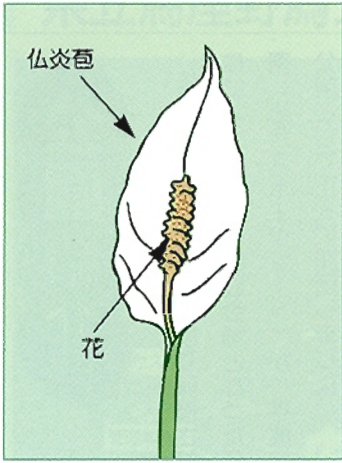
「スパティフィラム」

暗緑色の葉に白い花苞が美しく映える、人気の高い観葉植物です。上手に手入れを行って、楽しみましょう。



スパティフィラムとは

サトイモ科、スパティフィラム属の多年草。属名はギリシア語のSpata（仏炎苞）とPhyllum（葉）が由来です。熱帯アメリカを中心に自生しています。花は白くて細長く、花のように見える白い部分は、花苞（仏炎苞）と呼ばれるものです。



置き場所

花をつけるには、ある程度の光が必要ですが、夏は直射日光の当たらない戸外に、室内であれば半日陰の場所に置きます。冬は10℃以上で、レースのカーテン越し程度の日があたる場所に置きます。

水やり

いくぶん湿りがちの状態を好むので、5〜8月の生育期間は鉢土が乾かないよう水やりを行います。秋口から水やりを控えめにし、冬は鉢土が乾いたら与えます。空気が乾燥しやすい場合には、霧吹きで葉水をかけ、ほこりや虫等を洗い流します。

施肥

5〜8月の間、緩効性の化成肥料を月1回置き肥するか、薄めの液肥を2週間に1回程度、水やり替わりに施します。活動を休止している冬場は、肥料は与えません。

植替え

根が鉢底からあふれてで、根詰まりを起こしていたり、土が固くなっている様な場合は植え替えます。5〜7月の生育旺盛な時期に、一回り大きな鉢に植え替えるか、株分けを行います。新しい根が生長しやす

いように根鉢をほぐし、古い根や枯れてしまった根は切り取ります。



鉢土の下の部分をほぐす

防虫網、軽石等を敷いた一回り大きな鉢に培養土を入れ、根の隙間にしっかりと詰まるよう、土を緩でつつきながら少しずつ入れます。株分けの場合は、株毎に切りわけ、元気の良い株を同様に植え付けます。

縁等でつつきながら土を詰めていく



病害虫

カイガラムシやハダニが発生しやすいので風通しの良い場所に置き、葉の表裏に霧吹きでこまめに水をかけ、予防に努めましょう。

発生が多く見られた場合、ハダニにはケルセンの2000倍液、カイガラムシにはスプラサイドやスミチオンの1000〜2000倍液を散布します。

枯れた茎や、花が終わって緑色になったものは、茎の付け根から切り取り、大切に育てましょう。

年間管理スケジュール

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|-----------------------------------|----|----|----|-----------|---------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 置き場所 | レースのカーテン越し程度の光り ← 直射日光の当たらない明るい場所 | | | | | | | | | | | |
| 水やり | 乾いたら与える | | | | 乾かないよう与える | | | | | | | |
| 施肥 | | | | | | 固形肥料か液肥 | | | | | | |
| 植替え | | | | | | | | | | | | |